

特集

子ども図書室へようこそ!



宮城県図書館振興基本計画の基本方針のひとつに、「次世代を育成する図書館」があります。

この方針に基づき、子どもの読書活動の充実を図るためにあるのが子ども図書室です。

今回は、子ども図書室と、その取り組みについてご紹介します。



●子ども図書室について

●子ども図書室ってどこにあるの?どんな本があるの?

子ども図書室は、宮城県図書館の2階にあります。ここでは、0歳のお子さんから中学生くらいまでがご利用しやすいような本、例えば、赤ちゃんが見ても楽しめるような絵本から、岩波ジュニア新書のようなやさしめの新書にいたるまで、幅広く集めています。また、子ども図書室にあった方が、利用されやすいと思われるような本もご用意しています。児童資料について研究している本や、小・中学校の劇の本などはこちらにあります。

●子ども図書室って何時から何時まで開いているの?

子ども図書室のご利用時間は、朝の9時から夕方の5時までです。それ以降の時間に、予約された本の受け取りや、子ども図書室の本を利用されたい場合は、3階一般図書カウンターの窓口までお越しください。ただし、日曜と祝日は全館5時で閉館です。

●子ども図書室には何冊ぐらい本があるの?

子ども図書室では、貸出用に68,000冊の本や絵本、935点の紙芝居をご用意しています。(平成24年3月31日現在) 子ども図書室内に全部は置ききれないので、中の書庫に入れているものもあります。どの本がどこにあるかは検索した結果の画面に出てくる「配架場所」というところを見るとわかります。

●子ども図書室の新しい情報を得るにはどうしたらよいの?

新しく購入した児童書の情報や、職員やボランティアの方が読み聞かせを行うおはなし会、子ども図書室で開催される催し物など、子ども図書室に関する情報は「子どもの森・本のいずみ」でご紹介しています。

「子どもの森・本のいずみ」は、子ども図書室内で配布しているほか、宮城県図書館のホームページからもご覧いただけます。(http://www.library.pref.miyagi.jp/kodomo/index.html)

そのほか、その月に新しく購入した児童書の情報だけをピックアップした「号外 子どもの森・本のいずみ」も配布しています。



●おはなし会と展示について

●おはなし会を聞いてみたいのだけれど、どうしたらよい?

子ども図書室では、第一から第四までの金曜日・土曜日、毎週日曜日、および隔週の水曜日に、おはなし会を開いています。場所は、子ども図書室の中にある黄色い「おはなしコーナー」です。時間は30分ほどで、小さなお子さんから小学生まで、幅広い年齢の方に聞いていただけます。事前の予約などは不要です。

詳しくは宮城県図書館ホームページ内「おはなし会」へおいで!などでご確認ください。(http://www.library.pref.miyagi.jp/kodomo/ohanashikainew.html)



●季節にちなんだ絵本はないかしら?

子ども図書室では、毎月テーマを決めて絵本をご紹介します。季節や行事に関連した展示にしていることが多いので、まずそちらをご覧くださいになってみてはいかがでしょうか。展示の内容については、「子どもの森・本のいずみ」または宮城県図書館のホームページでご確認いただけます。

(http://www.library.pref.miyagi.jp/kodomo/index.html)

ご希望の本が見当たらない場合は、お探しのを手伝いますので、お気軽に職員へお声がけください。



●子どもの本展示会について

宮城県図書館では「子どもと本との出会い」に役立つことを目的として、毎年春に、前年度に出版された児童書をまとめて「子どもの本展示会」を開催しています。今年度は昨年出版された本の中から1,500冊を選び展示し、新しい本との出会いの場として、また選書の参考として、たくさんの方にご来場いただきました。会場では、読み聞かせをする親子や、本を夢中で読みふける子どもたち、絵本をじっくりと味わう大人の方々の姿が見られ、豊かな子どもの本の世界に触れるひとときを楽しんでいる様子が見え、うかがえました。

また、この本展示会は1年をかけて県内の希望する市町村図書館・公民館に「子どもの本移動展示会」として巡回し、広く県内の皆様に児童書に触れる機会として、様々な場所で活用いただいています。(表紙写真を参照ください) これらの取り組みは、次世代を担う子どもへの読書環境の充実を目指しこれからも継続して開催していきます。